

長野県知事選の結果を顧みて

長野県知事選挙は、一・三%の差と言う、類い希なる激戦でした。

残念ながら、私達が支持した、腰原愛正氏は敗れました。

民主主義のルールに従い、今後の県政には、出来る限り協力をして参りたいと考えています。

残念であつたことは、長野県という地方自治に関し、今回も又、中央政府の、やれ民主だ自民だと言う、政党選挙が持ち込まれたことです。

今後は、地方自治には政党色は不必要で、そのところにより県政が左右されてはなりません。長野県民の安全と安定の為の政治がどのように行われるかが、重要なことでもあります。

私は駒ヶ根市を代表する県議の一人として、党派党略にこだわることなく、今後は長野県の県政の進展と地域住民の幸せのみが最大の課題であると認識し、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援とご後援をお願い申し上げます。

残暑厳しいおり、益々のご健勝をお祈り申し上げます。

平成二十二年八月九日

会員各位

長野県議会議員 佐々木 祥二